

資料・統計

2024年中央手術部統計

Annual Report of Operations in 2024

新潟県立がんセンター新潟病院  
中央手術部

1. 消化器外科

		robot支援下	2
		SSD・部分切除	
食道		開腹	0
		腹腔鏡下	0
良性腫瘍	0	非切除	
非上皮性腫瘍	0	単開腹	0
食道癌	38	バイパス	開腹 1
右開胸（腹腔鏡併用3）	3		腹腔鏡下 3
ロボット支援下（腹腔鏡併用26）	27	その他	0
胸腔鏡下（腹腔鏡併用4）	5	再発	
腹腔鏡下（下縦隔郭清あり）	2	肝転移切除	0
開腹	0	卵巣転移切除	0
胸腔鏡併用咽喉食道全摘	1	リンパ節郭清	0
遊離空腸移植	0	局所切除	1
食道抜去	0	腸切除	0
頸部リンパ節郭清	0	バイパス	0
腹部リンパ節郭清	0	人工肛門造設	0
食道切除後2次的再建術	0	その他	0
胃管によるバイパス術	0	イレウス	
胃管癌	0	癒着剥離	3
胃管全切除（胸骨縦切開）	0	腸切除	0
胃管部分切除	0	バイパス	0
特発性食道破裂	0	人工肛門造設	0
		胃瘻・空腸瘻	0
胃		腹壁癒痕ヘルニア	
		修復術	開腹 0
胃癌			腹腔鏡下 1
Staging laparoscopy	6	非上皮性腫瘍	
切除		GIST	開腹 0
全摘	開腹 0		腹腔鏡下 13
	腹腔鏡下 7	悪性リンパ腫	0
	robot支援下 8	その他	13
残胃全摘	開腹 1	その他	
	腹腔鏡下 0		
	robot支援下 3		
噴門側切除	開腹 0	結腸，直腸手術症例	全身麻酔手術 267
	腹腔鏡下 2		その他の麻酔手術 71
	robot支援下 13	(2024年1月～2024年12月)	
幽門側切除	開腹 3	原発	191
	腹腔鏡下 39	結腸悪性	115
	robot支援下 54	(腹腔鏡下手術)	111)
PPG	開腹 0	(ロボット支援下手術)	33)
	腹腔鏡下 0	(拡大) 右半結腸切除術	52

S状結腸切除術	30	バイパス手術	2
横行結腸下行結腸切除術	9	腸管修復術	1
回盲部切除術	6	急性汎発性腹膜炎手術（腸切あり）	5
横行結腸切除術	3	鼠径ヘルニア根治術	4
結腸部分切除術	3	腹腔鏡下人工肛門造設術	3
左半結腸切除術	3	イレウス手術	3
下行結腸S状結腸切除術	2	急性汎発性腹膜炎手術（腸切なし）	2
人工肛門造設術	2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	2
虫垂切除術	2	直腸脱手術	1
下行結腸切除術	1	痔瘻根治術	1
大腸全摘術	1	人工肛門形成術	1
低位前方切除術	1		
結腸良性	0	肝胆膵	72
（腹腔鏡下手術	0)	肝腫瘍	
直腸悪性	74	肝細胞癌	6
（腹腔鏡下手術	71)	肝内胆管癌	1
（ロボット支援下手術	49)	転移性肝癌	16
（超）低位前方切除術	36	その他肝腫瘍	0
前方切除術	18	胆道癌	
直腸切断術	9	十二指腸乳頭部癌	1
ハルトマン手術	6	胆嚢癌	2
人工肛門造設術	4	胆管癌	1
経肛門的腫瘍切除術	1	膵疾患	
直腸良性	2	膵臓癌	20
（腹腔鏡下手術	0)	IPMA・MCN	2
再発・転移	12	内分泌腫瘍	1
	（重複あり）	その他悪性腫瘍	
肝切除術	2	十二指腸癌	0
腹膜播種/再発腫瘍切除術	5	GIST	1
傍大動脈リンパ節郭清術	1	小腸癌	0
卵巣摘出術	1	NHL	2
バイパス手術	1	その他悪性	1
人工肛門造設術	1	その他	
肝転移	2	胆石症・胆嚢ポリープ	14
	（上記原発再発症例に含まれる）	肝内結石症	0
異時	1	汎発性腹膜炎	0
	（上記再発症例に含まれる）	ヘルニア	1
同時	1	腹腔内膿瘍	0
	（上記原発症例に含まれる）	腸閉塞	1
その他の手術	135	閉塞性黄疸	0
	（内緊急手術 18)	その他良性	1
CVポート造設術	50	術後合併症	1
	（重複あり）	術式	
CVポート抜去術	22	肝葉切除+膵頭十二指腸切除	0
人工肛門閉鎖術	21	膵全摘	0
他科癌・他癌手術	20	膵中央切除	0
腸管切除術	11	膵頭十二指腸切除	12
リンパ節生検	3	膵体尾部切除	5
人工肛門造設術	2	腹腔鏡下膵体尾部切除	3
腹膜播種/腫瘍切除術	2	肝切除	11

肝門部胆管癌手術	0
胆嚢癌根治術	2
胆管癌手術	0
小腸悪性腫瘍手術	0
腹腔鏡下胆嚢摘除	10
ラジオ波焼灼	0
腹腔鏡下肝切除	12
その他悪性腫瘍手術	0
開腹胆摘	4
総胆管切石	0
胆道再建	0
PTCD / PTAD	0
その他	13

2024年の消化器外科における各臓器での入院手術件数は、食道：38件（5件増加）、胃：173件（2件増加）、結腸・直腸：338件（1件増加）、肝胆膵：72件（7件減少）であった。鏡視下手術/ロボット支援下手術（食道・胃・大腸）の件数は、食道切除：8/27件、胃切除：48/80件、結腸・直腸切除：182/82件、膵体尾部切除：3/0件、肝切除：12/0件であった。手術ロボットの利点を生かし、難易度の高い手術を積極的にロボット支援下手術で行っていた。本県は医療再編の必要性に迫られており、他施設との差別化を図り、癌専門施設としての当院の重要性を示すことが望まれる。

(文責 消化器外科 會澤雅樹)

## 2. 乳腺外科

外来手術	1
入院手術	
良性+プローベ	9
乳癌	317
Auchincloss	72
Mastectomy + SLNB	151
Simple mastectomy	30
Lumpectomy + Ax	5
Lumpectomy + SLNB	29
Lumpectomy	30
その他	
局所再発（リンパ節，創）	3
乳房内再発 乳房切除	13
乳房内再発 乳房部分切除	3
予防的切除（乳房切除）	0
断端陽性（乳房切除）	4
腋窩郭清	
（腋窩リンパ節遺残，リンパ節腫大（他癌））	2
センチネルリンパ節生検のみ	5
後出血	0

エキスパンダー挿入（上記手術に算定済み）	
1次組織拡張器挿入	35

2024年の原発性乳癌手術数は317件で、昨年より35件の減少であった。乳房切除（全摘）術は昨年とほぼ同数であったが、乳房温存手術数が64例と昨年より38件減少した。乳房温存手術の割合は約20%と低下した。一方で1次組織拡張器挿入術が昨年より20件増加した。（集計・文責 神林 智寿子）

## 3. 呼吸器外科

( ) 胸腔鏡手術

1. 気管（支）疾患	0
2. 肺疾患	239 (232)
2-1  良性肺疾患	12 ( 12)
炎症性腫瘍	7 ( 7)
真菌症	0 ( 0)
過誤腫	1 ( 1)
肺動静脈瘤	0 ( 0)
その他	4 ( 4)
2-2  悪性腫瘍	227 (220)
2-2-1  原発性肺癌	179 (173)
全摘除	0 ( 0)
肺葉切除	117 (113)
区域切除	30 ( 30)
部分切除	28 ( 27)
試験	3 ( 3)
その他	1 ( 0)
2-2-2  転移性肺腫瘍	47 ( 46)
大腸癌	23 ( 23)
泌尿器生殖器腫瘍	11 ( 11)
他消化器がん	11 ( 10)
肺癌	1 ( 1)
骨軟部腫瘍	0 ( 0)
乳癌	1 ( 1)
悪性黒色腫	0 ( 0)
2-2-3  その他の悪性肺疾患	1 ( 1)
3. 縦隔疾患	21 ( 14)
3-1  縦隔腫瘍	21 ( 14)
胸腺腫	12 ( 8)
原発不明縦隔リンパ節癌	0 ( 0)
縦隔リンパ節 他	9 ( 6)
3-2  縦隔鏡検査	0 ( 0)
4. 胸膜疾患	14 ( 13)
気胸	2 ( 2)
膿胸	1 ( 1)
術後出血・膿胸	0 ( 0)
術後肺ろう	5 ( 5)
孤立性線維腫	2 ( 2)

術後気管支断端瘻	1 ( 1)
胸膜腫瘍 (中皮腫)	1 ( 1)
肺膿瘍	0 ( 0)
その他	2 ( 1)
5. 胸壁疾患	0 ( 0)
6. そのほか	7 ( 2)
合計	281 (261)

コロナ禍で減少した総手術数が戻りません。原発肺腫瘍手術数は減少しました。(文責 青木 正)

#### 4. 骨軟部腫瘍・整形外科

##### 腫瘍性疾患

###### 良性軟部腫瘍

切除術 (切除個数)	162
生検	1
良性軟部腫瘍	計 163

###### 良性骨腫瘍

切除または搔爬+骨移植	22
切除+人工関節	0
生検	10
良性骨腫瘍	計 32

###### 悪性軟部腫瘍

広範切除	12
広範切除+皮弁など再建	11
切断	1
生検	6
悪性軟部腫瘍	計 30

###### 悪性骨腫瘍

広範切除	6
広範切除+人工関節・自家骨移植	3
切断	0
生検	2
悪性骨腫瘍	計 11

###### 転移性腫瘍・脊椎

除圧・後方固定	0
---------	---

###### 転移性腫瘍

髄内釘・ピンニング	4
切断	0
広範切除+人工骨頭置換	3
創外固定	0
切除・生検	8
転移性腫瘍	計 15

###### 腫瘍性疾患

計 251

##### 非腫瘍性疾患

###### 外傷

創傷処置	4
骨接合術	9
創外固定	0
人工骨頭置換術 (股)	5
観血的関節受動術	0
観血的脱臼整復	0
外傷	計 18

###### 感染

デブリードマン	1
骨搔爬術 (骨髓炎手術)	0
感染	計 1

###### その他

デュプイトレン拘縮手術	1
伸筋腱脱臼整復術	1
全大腿骨再置換術	2
切断 (感染, 壊死)	5
滑膜切除	1
分層植皮	2
動脈皮弁	1
抜釘・異物・ポート除去	11
その他	計 24

###### 非腫瘍性疾患

計 43

総合計 294

手術件数は294件 (22件増加), 腫瘍性疾患は前年 (249件) よりも増加した。腫瘍性疾患のうち良性腫瘍は195件 (7件増加), 悪性腫瘍数は生検手術を除く33件 (5件減少) であった。皮弁再建を要する長時間の悪性軟部腫瘍手術が多かった。長期経過による人工関節の緩みや感染例に対する全大腿骨置換術が2件あった。(文責 山岸哲郎)

#### 5. 脳神経外科

##### 総手術件数

総手術件数	15
1) 脳腫瘍摘出術	8
悪性腫瘍	4
良性腫瘍	4
2) 脳血管障害	0
3) 頭部外傷	2
慢性硬膜下血腫	2
4) その他	5
オンマイヤーリザーバー設置術	2

## 定位的脳腫瘍生検術 3

手術件数は例年と大きな変わりはないが少しずつ減少傾向である。全身麻酔下の良性腫瘍摘出術が昨年と比べ3件増加した。生検術ではナビゲーションを使用するなどして安全で確実な手術を行っている。(文責 五十川 瑞穂)

## 6. 婦人科

良性腫瘍・上皮内腫瘍手術	115
子宮頸部上皮内腫瘍	44
子宮筋腫	12
子宮内膜増殖症	13
子宮内膜ポリープ	1
卵巣腫瘍	34
膈上皮内腫瘍	5
その他	6
悪性腫瘍	179
子宮頸部腫瘍	23
子宮体部腫瘍	90
卵巣・卵管・腹膜腫瘍	64
外陰部腫瘍	2
広汎子宮全摘術	17
子宮頸癌	16
子宮体癌	1
子宮体部悪性腫瘍手術	90
開腹手術	65
腹腔鏡下手術	23
腔式手術 (検査含む)	2
卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌手術	64
原発腫瘍	45
再発腫瘍	3
転移性腫瘍	2
卵巣境界悪性腫瘍	8
審査腹腔鏡, 試験開腹	6
子宮頸部円錐切除術	34
腹腔鏡下手術	56
良性卵巣腫瘍	17
HBOC	2
悪性腫瘍に対する審査腹腔鏡	3
腹腔鏡下子宮全摘術	34
・子宮筋腫・子宮内膜増殖症	5
・子宮体癌	23

## ・子宮頸部腫瘍 6

経頸管摘除術 (TCR)	2
子宮内膜ポリープ	1
子宮筋腫	1

手術総件数 294

2024年の手術件数は294件であり、昨年(317件)より約7%減となった。ただ悪性腫瘍手術は179件で、昨年(161件)より11%増えている。遺伝性乳がん卵巣がん症候群に対する予防的卵管・卵巣切除術が2021年より保険適応となり、当院でも開始している。全体に占める悪性腫瘍手術の割合は2019年:33%から2021年:45%, 2023年51%と年々増加をし、2024年:61%となっている。(文責 西川伸道)

## 7. 泌尿器科

後腹膜腫瘍, 副腎の手術	(小計 1)
後腹膜腫瘍生検術	1
腎腫瘍および腎の手術	(小計71)
根治的腎摘出術	17
腹腔鏡下腎摘出術	14
腎部分切除術	8
経皮的腎腫瘍生検	9
経皮的腎瘻造設術	22
腎その他	1
腎盂・尿管腫瘍および腎盂・尿管の手術	(小計79)
腎尿管全摘出術	20
腹腔鏡下腎尿管摘出術	3
尿管カテーテル法 (留置を含む)	54
腎盂・尿管その他	2
膀胱腫瘍および膀胱の手術	(小計322)
膀胱全摘出術+回腸導管造設術	12
膀胱全摘出術+尿管皮膚瘻造設術	2
経尿道的膀胱腫瘍切除術	298
膀胱内血腫除去・止血術	2
膀胱部分切除術	4
尿管摘出術	2
膀胱その他	2
尿道腫瘍および尿道の手術	(小計3)
内尿道切開術	2
尿道腫瘍切除	1
前立腺腫瘍および前立腺の手術	(小計251)
前立腺生検	248
前立腺全摘出術	2
経尿道的前立腺切除	1
精巣腫瘍および精巣の手術	(小計22)
高位精巣摘出術	19

去勢術	3
陰茎の手術 (小計)	4
陰茎悪性腫瘍手術	2
陰茎腫瘍生検術	1
包茎手術	1
その他 (小計)	3
<hr/>	
総計	756

2024年の手術件数は756件で、前年よりやや減少していた。内訳では、腎腫瘍の手術がやや減少したが、膀胱癌の手術はやや増加した。

また、腎癌、腎盂癌に対する腹腔鏡下手術が、大幅に増加した。(文責 谷川俊貴)

## 8. 皮膚科

手術件数	971
悪性腫瘍	402
悪性黒色腫	69
基底細胞癌	119
有棘細胞癌	107
ボーエン病	46
日光角化症	29
乳房外パジェット病	10
その他	22
良性腫瘍・その他	569
母斑類	133
粉瘤	97
脂漏性角化症	59
脂肪腫	68
石灰化上皮腫	28
血管腫	28
皮膚線維腫	20
その他	136

2024年の皮膚科手術件数は971件で、前年比148件増となり過去最高を記録した。近畿大学から皮膚科専攻医1名の派遣があり、その増員効果により件数が飛躍的に伸びたと考えられる。件数の増加に伴い、定期手術枠以外での「空き枠利用」もやむを得ず増加しているが、常に安全かつ円滑な運用に協力してくれている手術室スタッフに深く感謝する。

(文責 竹之内辰也)

## 9. 頭頸部外科

舌・口腔	
舌・口腔良性腫瘍摘出術	1
舌・口腔悪性腫瘍摘出術	18

咽頭		小計	19
咽頭良性腫瘍摘出術			0
咽頭悪性腫瘍摘出術 (外切開)			1
下咽頭・喉頭全摘術			5
斜視鏡下咽頭悪性腫瘍手術			22
嚥下改善手術 (原発巣との併術含む)			0
		小計	28

### 喉頭・気管

気管切開術	17	
人工シャント発声手術 (プロボックス®留置)	1	
喉頭全摘術	2	
喉頭亜全摘術(CHEP)	0	
喉頭垂直部分切除術	7	
斜視鏡下喉頭悪性腫瘍手術	3	
	小計	30

### 頸部

頸部廓清術 (原発巣との併術含む, 片側を1とカウント)	87	
	小計	87

### 甲状腺

甲状腺良性腫瘍摘出術	20	
バセドウ病手術	2	
甲状腺悪性腫瘍摘出術	66	
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	13	
	小計	101

### 耳下腺

耳下腺良性腫瘍摘出術	11	
耳下腺悪性腫瘍摘出術	12	
	小計	23

### 顎下腺

顎下腺良性腫瘍摘出術	2	
顎下腺悪性腫瘍摘出術	1	
	小計	3

### 鼻・副鼻腔

鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術	0	
	小計	0

### 再建手術

腹直筋 (遊離)	3	
前外側大腿皮弁 (遊離)	4	
前腕皮弁 (遊離)	3	
空腸 (遊離)	4	
大胸筋皮弁 (有茎)	3	
前胸壁皮弁 (有茎)	1	
局所皮弁	0	
	小計	18

ロボット支援下手術	2
末梢挿入型中心静脈カテーテル (PICC)	62
動注ポート留置	0

CVポート留置	4
その他 (リンパ節生検, 気管孔閉鎖など)	18

計 92

合計 331件 (PICCは除く)

2024年度の手術件数は331件で、前年比30件の増加だった。再建(遊離あるいは有茎)を要する拡大手術は18件(前年比5件の増加)だった。低侵襲の斜視鏡下経口的手術は25件であった。内視鏡下甲状腺腫瘍手術を開始し、13件の手術を施行した。またロボット支援下手術を開始し、2件施行した。上記以外の術式には大きな変化はなかった。

(文責 山崎恵介)

## 10. 形成外科

腫瘍	81
良性腫瘍	4
腫瘍切除後の組織欠損	77
瘢痕, 瘢痕拘縮, ケロイド	3
難治性潰瘍	1
炎症	2
美容	3
その他	2

他科との手術は、手術の約68%であり、乳腺外科、頭頸部外科、整形外科、消化器外科と手術させていただいています。乳房再建関連手術は55症例でした。引き続き他科との手術を含め、再建手術に積極的に取り組み、患者さんにはご納得いただけるよう対応したいと考えています。(文責 坂村律生)

## 11. 眼科

水晶体再建術: 眼内レンズを挿入する場合	149
緑内障手術	20
腫瘍手術	4
硝子体注射/注入	41
その他	2
合計	216

眼科の病棟が感染対策病棟へ転換となり、手術件数の大幅な減少となっている。

相変わらず1名による手術体制であるが、手術の種類が多岐であり、難易度の高い症例も多く、他院から紹介される手術対象患者の比率も大きい状態が続いている。(文責 原 浩昭)